



学校評価だより

～最終自己評価～

令和6年3月 発行

珠洲市立宝立小中学校

令和5年度最終期の学校評価として、2学期実施の児童生徒・保護者・教職員アンケートをもとに自己評価を行いました。そして、3学期に予定していた評価者の方々による授業参観が、この度の震災により実施できず、紙面による評価のみとなりました。しかしながら、今回のアンケート結果や自己評価の結果（裏面）を十分に把握し、ご意見等を実直に受け止めて、今後の取組に反映させていく所存です。結果についてお知らせいたしますとともに、ご家庭にご協力いただくこともございますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

本校の教育目標

ふるさと宝立の自然や人に学び、たくましく生き抜く子の育成

目指す児童生徒像
本校の重点目標

◇確かな学力を身に付けた子（知育）
『自律的な学習者の育成』

◇思いやりがあり心豊かな子（徳育）

◇健康・安全を育み守る子（体育・食育）

重点目標



(1) よく考え、確かな学力を身につけた子の育成

(2) 思いやりがあり心豊かな子の育成

(3) 健康・安全を育み守る子の育成

(4) 魅力ある学校づくりの推進

本年度重点事項



(1) 学んだ知識を活用し、自ら考え、行動できる
見方・考え方を持った児童・生徒の育成

(2) 自己管理能力、
自らコントロールする力の育成

(3) 体力向上の取組の充実

(4) 学びを実感できる児童・生徒会活動の創造

《結果・分析》

○校内研修が指導改善に役立っていることを教職員全員が自覚しており、自律的な学習を促すために、「目標を設定」させながら指導しています。そのため、児童生徒は「授業内容はよくわかる」と大半が肯定意見を示しています。また、保護者からも「授業がわかりやすいように工夫している」については十分な理解を得ています。【児生1, 保9, 教I-3】

○授業の導入において、教師は児童生徒と共に課題を作ることを心掛けており、その結果、児童生徒も自ら課題や見通しをもって授業に臨むことができています。【児生2, 教I-3】

▲「けてぶれ学習」について、低中学年の児童が上手に取り組むことができていない状況がわかりました。

▲児童生徒は自分の考えを何らかの形で表現していると肯定的であるが、教職員は否定的であり、根拠や理由を示すことが弱いと感じています。



《改善策》

◇家庭学習チャレンジ週間の期間に、チューター制を導入し、自学ノートの学習内容や取り組み方について担当者からアドバイスや激励の言葉をもらうことで、学習内容や取り組み方に変化が見られ、自律的な学習への成果が出てきています。

◇課題づくりは校内研修の一環であり、教師自身がねらいを明確にもち、しっかりと授業を展開させて、確かな学力を身につけさせます。

《結果・分析》

○自問清掃に関する回答は、下半期においても大変肯定的で評価が高く、大変自主的に取り組んでいます。【児生13, 教II-4】

○児童生徒と教師が共に考える道徳授業を実践し、行事等の体験的な学習にも意欲的に取り組む姿が見られます。また、普段の生活における児童生徒の責任ある行動にもつながっています。【児生12, 教II-6】

▲「挨拶がしっかりできている」という認識について、児童生徒は肯定的に捉えています。教職員は相手を見ることや声の大きさなど物足りなさを感じています。【児生10, 保2, 教II-1】

▲睡眠時間について、「十分にとれていない」と感じている児童生徒が多いことがわかります。ネット機器の使用と深く関係していることが要因だと考えています。



《改善策》

◇本校の「あいどろ+下足」を含めて相手に伝わる挨拶等、挨拶の意義について児童生徒が理解し、実践できる場面を意図的に設定したりして、継続的に指導していきます。

◇次年度以降も睡眠講話や睡眠と学習の関係性について学ぶ機会を設定し、睡眠の重要性を保護者等に啓発すると共に、児童生徒にも指導していきます。

《結果・分析》

○栄養教諭や学級担任による適切な給食指導ができていたり、食習慣に関して保護者と連携して取り組んでいることにより、児童・生徒は苦手なものも含めてしっかり給食を食べています。また、家庭でも朝食をきちんととっている様子が見られます。【児生11, 保4, 教III-1, 2】

○児童生徒に「睡眠の大切さ」や「インターネットとの付き合い方」について指導したことにより、睡眠改善の兆候が見られます。【教III-3】

▲ネット機器を保護者に預けることについては、否定的回答が多いです。学年が上がるにつれて低くなっています。【児生17, 保7】



《改善策》

◇睡眠については、学習や運動と関係性があるので、計画的・系統的に指導し、指導内容も全教師で共有します。

◇SNSのルールについては定着してきており、家庭との連携を継続的に進めていきます。また、小学校低学年からルール作りを具体的に決めて実践できるように働きかけていきます。保護者にも協力を仰ぎます。生活リズムを崩さないよう保健指導もしていきます。

《結果・分析》

○地域人材を授業等で活用することで、児童生徒の学びが充実していることが、アンケート結果から読み取れます。地域の学習が学校生活にも生かされ、学校が楽しいと解答している児童生徒がほとんどです。保護者の意見も同様で、「楽しそうに学校へ行っている」という肯定的な回答が多いです。【児生8, 保1, 教IV-4】

○教職員は日頃の道徳や総合的な学習の時間等において、地域教材や地域人材を積極的に活用して授業を行い、児童生徒の探究心の高揚や地域再発見に尽力しています。【教IV-4】

○児童生徒が行う各種集会の事前準備を教師側がしっかりとサポートし、児童生徒が積極的かつ自発的に運営することができています。【児21, 教IV-1・2】



《改善策》

◇地域の方との学習活動については肯定的な回答が100%になるように、事前に学習計画を立てて確実に実施し成果が出るようにします。

◇自治活動では、児童・生徒がより積極的、自発的に取り組めるように、教師が事前準備をし、明確な目的をもたせるよう、引き続き指導していきます。

児童・生徒アンケート結果

質問内容	前期	中期	後期	前期	中期	後期
1 授業の内容はよくわかる。	100.0%	95.8%	92.9%	100.0%	95.8%	92.9%
2 授業のはじめに課題や見通しをもって学習している。	100.0%	83.3%	92.9%	100.0%	83.3%	92.9%
3 授業で習ったことを生かして自分の考えを表現している。	92.6%	95.8%	85.7%	92.6%	95.8%	85.7%
4 授業でわからないことがあるとき、先生に聞く(質問する)ことができる。	88.9%	83.3%	71.4%	88.9%	83.3%	71.4%
5 けずぶれの学習がしっかりと身につけてきている。	75.0%	50.0%	78.6%	75.0%	50.0%	78.6%
6 ICT機器(クロームブック・タブレット・パソコン)を家庭学習に活用している。	74.1%	75.0%	78.6%	74.1%	75.0%	78.6%
7 家庭学習の目標時間を意識して学習に取り組んでいる。	100.0%	95.8%	98.5%	100.0%	95.8%	98.5%
8 地域(町・市)の自然や人から学び、身についたと実感することができる。	88.9%	83.3%	86.2%	88.9%	83.3%	86.2%
9 学校が楽しいと思う。	96.3%	100.0%	95.4%	96.3%	100.0%	95.4%
10 学校や家庭、地域であいさつや返事ができる。	85.2%	100.0%	92.3%	85.2%	100.0%	92.3%
11 給食では、苦手なものも残さず食べている。	96.3%	100.0%	98.5%	96.3%	100.0%	98.5%
12 良いことや正しいことを進んで行い、責任ある行動をしている。	96.3%	87.5%	92.3%	96.3%	87.5%	92.3%
13 自問清掃に取り組むことができる。(前期は、それに準ずる)	96.3%	95.8%	100.0%	96.3%	95.8%	100.0%
14 先生は、がんばったことに対してほめたり、認めたりしていると思う。	96.3%	100.0%	92.9%	96.3%	100.0%	92.9%
15 地域の行事(ラジオ体操・祭りなど)があれば進んで参加している。	96.3%	87.5%	71.4%	96.3%	87.5%	71.4%
16 友達・先生・家庭・地域の方々に感謝することを心がけている。	100.0%	95.8%	92.9%	100.0%	95.8%	92.9%
17 夜9時までに、自分の持っているインターネットに接続できる機器(クロームブック以外)を保護者に預けている。	73.1%	73.9%	23.1%	73.1%	73.9%	23.1%
18 インターネットに接続できる機器の使い方について、家庭のルールがありそのルールを守っている。	90.0%	79.2%	78.6%	90.0%	79.2%	78.6%
19 交通ルールを守っている。(中学生はヘルメット、安全タスキの着用)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
20 毎日何時に寝ているか。	92.6%	54.2%	7.1%	92.6%	54.2%	7.1%
21 児童生徒会活動やブロック集会等に積極的に参加したり、取り組んだりしている。	100.0%	95.8%	92.9%	100.0%	95.8%	92.9%

保護者アンケート結果

質問内容	前期	中期	後期	前期	中期	後期
1 お子さんは、「楽しそうに学校へ行っている」と思いますか。	96.3%	95.8%	92.9%	96.3%	95.8%	92.9%
2 お子さんは、ご家庭で、あいさつや返事ができていますか。	88.9%	91.7%	92.9%	88.9%	91.7%	92.9%
3 お子さんは、毎日学年の目標学習時間を意識して家庭学習に取り組んでいますか。	74.1%	75.0%	78.6%	74.1%	75.0%	78.6%
4 お子さんは、毎朝、朝食を食べていますか。	88.9%	100.0%	100.0%	88.9%	100.0%	100.0%
5 お子さんは、虫歯の予防・治療に取り組んでいますか。	63.0%	66.7%	92.9%	63.0%	66.7%	92.9%
6 お子さんはしっかり睡眠をとっていますか。	88.9%	87.5%	71.4%	88.9%	87.5%	71.4%
7 お子さんは夜9時までに、自分の持っているインターネットに接続できる機器を保護者に預けていますか。	51.9%	70.8%	50.0%	51.9%	70.8%	50.0%
8 お子さんは、インターネットに接続できる機器の使い方について、家庭のルールを守っていますか。	66.7%	75.0%	78.6%	66.7%	75.0%	78.6%
9 本校の教職員は、授業がわかりやすいように工夫していると思いますか。	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
10 本校の教職員は、子どもたちの気持ちや内面を理解しようとしていると思いますか。	96.3%	100.0%	92.9%	96.3%	100.0%	92.9%
11 学校は、保護者や地域の声を受け止め、ていねいに対応していると思いますか。	100.0%	95.8%	85.7%	100.0%	95.8%	85.7%
12 学校は、いじめや問題行動等の未然防止や早期発見に努めていると思いますか。	96.3%	100.0%	78.6%	96.3%	100.0%	78.6%
13 学校は、教育方針や活動内容をホームページやお便り等でわかりやすく伝えていると思いますか。	100.0%	100.0%	85.7%	100.0%	100.0%	85.7%
14 学校は、児童生徒の安全を守るために努力していると思いますか。	100.0%	100.0%	85.7%	100.0%	100.0%	85.7%

教職員アンケート結果

質問内容	中間	最終	中間	最終
I-1 宝立授業スタンダードに基づいて、授業を実践している。	100.0%	93.8%	100.0%	93.8%
I-2 各期で付けた力(前期【習得】、中期【活用】、後期【探究】)を育む学習活動を、各教科モデルに位置づけて指導している。	100.0%	93.8%	100.0%	93.8%
I-3 (思判表の)授業の中で、児童生徒と共に課題を作るように意識して取り組んでいる。	87.5%	81.3%	87.5%	81.3%
I-4 確かな学力 児童生徒は、自分の考えの根拠や理由を既習を生かして示しながら説明する文章を書いている。	81.3%	68.8%	81.3%	68.8%
I-5 授業の中で、振り返りを行っている。	87.5%	81.3%	87.5%	81.3%
I-6 校内研修は、指導法改善に役立っている。	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
I-7 自律的な学習を促すために、「目標設定」をさせながら学習に取り組ませている。	93.8%	100.0%	93.8%	100.0%
I-8 学ぶ喜びや達成感の構成要素に着目した「わかる授業」に取り組んでいる。	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
I-9 ICT端末を効果的に活用できる家庭学習を提供している。	56.3%	42.9%	56.3%	42.9%
II-1 児童生徒は、あいさつや返事をしている。	100.0%	78.9%	100.0%	78.9%
II-2 児童生徒との約束「あいどる+下足」に取り組んでいる。	88.2%	94.7%	88.2%	94.7%
II-3 児童生徒は自らコントロールすることを意識している。	88.2%	68.4%	88.2%	68.4%
II-4 児童生徒は、自問清掃(前期はそれに準ずる)に取り組んでいる。	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
II-5 心豊かな子 学校の取組として、望ましい人間関係づくりの力を育むために縦割り活動等が計画的・効果的に取り入れられている。	100.0%	94.7%	100.0%	94.7%
II-6 行事等の体験的な学習を生かして、生きて働く道徳性を育む道徳授業を実践する。	94.1%	100.0%	94.1%	100.0%
II-7 いじめ問題対策チームを中心に、組織的に対応している。	100.0%	94.4%	100.0%	94.4%
II-8 いじめアンケートやQU、SOを活用した面談をもとに、いじめ早期発見・未然防止に努めている。	94.1%	94.4%	94.1%	94.4%
II-9 児童生徒理解の会等を活用して児童生徒の実態を把握し、必要に応じて支援している。	100.0%	94.4%	100.0%	94.4%
II-10 キャリアパスポート等を活用し、学校生活や行事に対して目標設定とふり返りを適宜行っている。	100.0%	93.8%	100.0%	93.8%
III-1 健康・安全 学級や給食時間等で、適切な生活習慣・食習慣に関する指導に取り組んでいる。	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
III-2 望ましい生活習慣、食習慣の確立に向けて、家庭と連携を図っている。	82.4%	94.7%	82.4%	94.7%
III-3 児童生徒は、就寝時刻に気を付けて生活している。	82.4%	78.9%	82.4%	78.9%
III-4 児童生徒は、安全面・健康(体力)面に留意して行動している。	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
III-5 ワークライフバランスを含むタイムマネジメント等の意識改革を図るために『本校の働き方改革の実践』に取り組んでいる。	99.7%	89.5%	99.7%	89.5%
IV-1 児童生徒は、児童生徒会活動やブロック集会等に積極的に取り組んでいる。	94.7%	100.0%	94.7%	100.0%
IV-2 児童生徒は、児童生徒会委員会や学級会等で話し合ったり協働的に取り組んだりしている。	94.7%	93.8%	94.7%	93.8%
IV-3 集会のねらいを明確にし、計画的に児童生徒主導の集会を開催している。	94.7%	94.7%	94.7%	94.7%
IV-4 魅力ある学校 地域の教材・人を活用した授業やGTを活用した教育活動を、効果的に取り入れている。	94.1%	94.4%	94.1%	94.4%
IV-5 総合的な学習の時間の年間計画に基づき、「ふるさと珠洲科」の推進に取り組んでいる。	88.2%	100.0%	88.2%	100.0%
IV-6 学校の取組として、地域の各種団体との連携が計画的・効果的に図られている。	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
IV-7 校内研修は計画的に進められており、指導力向上につながっている。	135.0%	100.0%	135.0%	100.0%
IV-8 学校だより等の発行やホームページの更新など、教育活動の様子を家庭・地域等に知らせる。	94.7%	100.0%	94.7%	100.0%
IV-9 様々な活動においてB(ビフォー)とA(アフター)を意識して取り組んでいる。	94.7%	100.0%	94.7%	100.0%

肯定的に回答(4または3)した合計の割合を、判定基準の一つとして下記のように評価しています。また、C評価の項目(黄色部分)については速やかに改善策を考え対応します。

☆児童・生徒アンケート A(前期・中期:85以上・後期:80%以上)
B(前期・中期・後期:70%以上)
C(前期・中期・後期:70%未満)

☆保護者アンケート A(85%以上) B(70%以上) C(70%未満)
☆教職員アンケート A(85%以上) B(70%以上) C(70%未満)

【学校関係者評価委員からいただいた感想・意見】

- 素直な子どもたちが多くて、学校外でも大きな声で挨拶されることがあり、うれしく思います。
- 全体的に挨拶はできていると思いますが、顔を見てするなど、相手に伝わるようになればいいと思います。
- 9時以降のネット機器については、一部勉強のために使用していると思います。ただ「預ける」ことについては、家庭の「しつけ」が重要だと思います。
- 学校側は、しっかり対策されており、課題に取り組まれていると思います。「しつけ」を学校側に求める保護者もいるように感じますので、子どもを通じて保護者の教育もできればと思います。